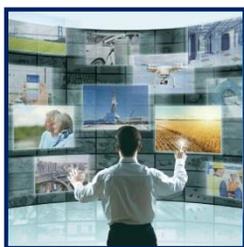


【ご参考資料】

2017年6月5日
野村アセットマネジメント株式会社

『野村未来トレンド発見ファンド』 Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし) 愛称:先見の明

- ◆新設コース「Aコース(為替ヘッジあり)」のご案内
- ◆ファンドの運用状況について

新設コース「Aコース(為替ヘッジあり)」のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、『野村未来トレンド発見ファンド』に、「Aコース(為替ヘッジあり)」を2017年6月2日に新規設定いたしましたのでご案内申し上げます。

従来のファンドの名称は「Bコース(為替ヘッジなし)」に変更となりました。なお、「Aコース(為替ヘッジあり)」および「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングが可能です。

*販売会社によっては、スイッチングのお取り扱いを行わない場合があります。

今後とも、『野村未来トレンド発見ファンド』をご愛顧賜りますようお願いいたします。

ファンドのポイント

ポイント
1

世界の成長企業の株式に投資

先進国から新興国まで、世界の成長企業の株式に集中投資します。

ポイント
2

中長期の成長が見込まれる成長テーマを複数選び、各テーマから銘柄を厳選

新たな価値の創造／新興国へのトレンドの広まり／社会構造の変化をテーマ選びのポイントとします。銘柄選定においては、市場環境やマクロ経済動向も加味します。

50銘柄程度に
厳選



ポイント
3

未来のトレンドを見据えて、成長テーマや投資配分を機動的に見直し

魅力的な新しいテーマの発見に継続的に取り組む一方で、期待した成長ストーリーの変化にも柔軟に対応します。

NEW!
ポイント
4

「Aコース(為替ヘッジあり)」 「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングが可能です。

— 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 —

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの運用状況について

基準価額の推移

「Aコース(為替ヘッジあり)」は2017年6月2日設定のため、「Bコース(為替ヘッジなし)」の基準価額を掲載しています。

「Bコース(為替ヘッジなし)」(従来のファンド)の基準価額は、設定以降、軟調な推移となりました。主な要因として、原油価格の下落を背景とした世界的な景気鈍化懸念などによって世界の株式市場はリスクオフ(投資リスクの回避)の状況となったことに加えて、米ドルの為替レート(対円)が下落基調(円高)で推移したことが挙げられます(ポートフォリオの実質通貨比率の大半は米ドルです)。

しかし、2016年11月、米大統領選においてトランプ氏が勝利すると、景気刺激策などへの期待感によって米国をはじめとした主要国の株式市場が上昇基調となったことや、米国長期金利の急上昇に伴い米ドルの為替レート(対円)が上昇基調(円安)となったことなどを背景に、基準価額は上昇に転じました。足元では、組入銘柄の2017年第1四半期(1-3月期)決算内容が概ね良好だったことを受けて株価が上昇したこと等を背景に、2017年5月26日現在、10,446円となりました。

「Bコース(為替ヘッジなし)」の基準価額の推移



— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

米ドルの為替レート(対円)の推移



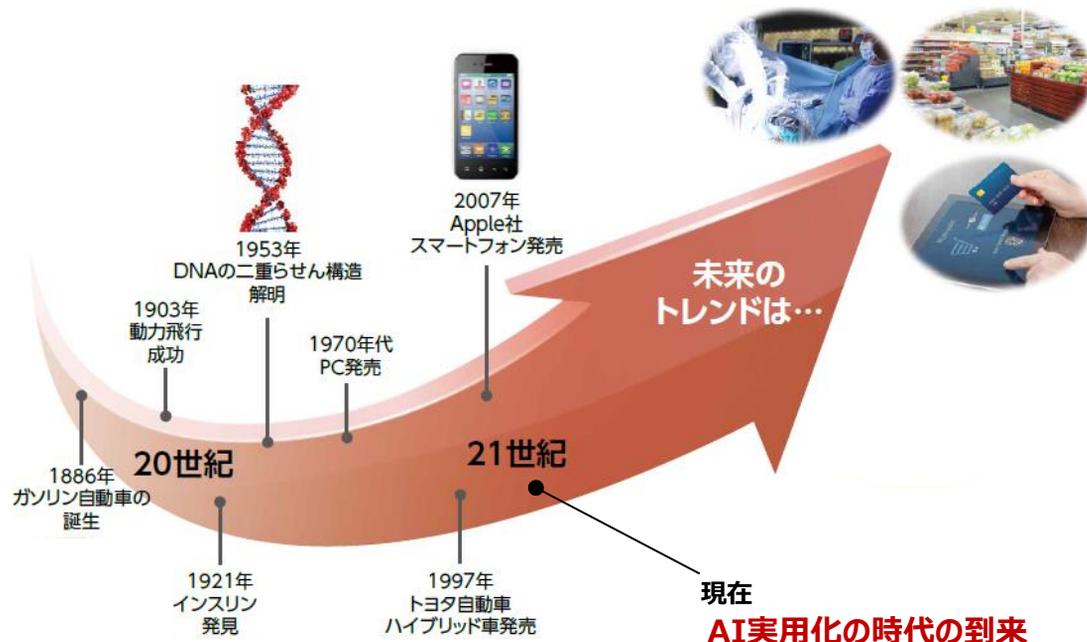
(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

— 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

世界のトレンドと成長テーマ ～各成長テーマでも注目されるAI～

これまで、世界のトレンドはめまぐるしく変化しました。ファンドでは、世界のトレンドや構造変化に注目して、中長期的な成長が見込まれる複数の成長テーマを選定し、各テーマから銘柄を厳選します。



掲載写真はイメージです。
(出所) 野村アセットマネジメント作成

現在の成長テーマ(2017年5月現在)

AIは成長テーマの横串的なトレンド

新技術・
新製品・
新サービス

インター
ネット

スマート
シティ

フィンテック
(金融テ
クノロジー)

アウトソー
シング

インフラ
投資

消費の拡大・
多様化

高齢化
社会

エネルギー
革命

— 上記は記載時点で選定された成長テーマであり、今後変更となる可能性があります。 —
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

現在、世界はAI実用化の時代に入り、飛躍的な進化を遂げるAIが、社会や産業構造を大きく変えようとしています。ファンドでもこの流れを捉え、AIはファンドの現在の成長テーマの横串的なトレンドとなっており、その結果、ポートフォリオにAI関連の銘柄を多く組み入れています。一方、ファンドでは9つの成長テーマを主軸に様々な側面から銘柄を厳選しているため、AIに関連しない銘柄も組み入れています。

— 上記は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

ファンドの組入上位銘柄について①(2017年4月28日現在)

< >内の国・地域は原則発行国・地域で区分しています。

「Aコース(為替ヘッジあり)」は2017年6月2日設定のため、「Bコース(為替ヘッジなし)」の組入銘柄を掲載しています。

組入銘柄の直近の決算内容は、概ね好調

4月から5月にかけて発表された組入銘柄の2017年第1四半期(1-3月期)の決算は、概ね良好な内容だったことから株価が上昇し、ファンドの基準価額の上昇に寄与しました。組入上位3銘柄について、直近の決算の注目点を見ていきましょう。

組入1位 アマゾン・ドット・コム(AMAZON.COM INC) <米国>

決算内容と株式市場の反応

- ✓ クラウド事業(AWS:アマゾンウェブサービス)は、売上が前年同期比約+43%の成長だったことが評価され、決算発表後、株価は上昇した。
- ✓ eコマース事業は、北米での売上が+24%と前期(2016年10-12月期)の+22%から加速した。海外での売上は、+16%となった(前期は+18%)。

今後の見通し

- ✓ eコマース事業に比べて、利益率が数倍高いクラウド事業(AWS)の成長見通しが重要とされている。
- ✓ キャッシュの有効利用についても今後の株価を見通す上で重要なポイント。今回、設備投資に積極的なスタンスが強調された後に株価が大きく上昇したことは、同社事業のインフラ的な要素の重要性が評価されていることを表すのではないかと考えられる。

株価の推移

2012年12月31日～2017年5月26日、日次



(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

組入2位 インテューイティブ・サージカル(INTUITIVE SURGICAL INC) <米国>

決算内容と株式市場の反応

- ✓ EPS(一株当たり利益)は5.09米ドルと市場予想を上回り、決算発表後、株価は上昇した。
- ✓ 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の出荷台数も予想を上回ったことから、業績動向に強気の見方が広がっている。

今後の見通し

- ✓ 決算発表後、「ダ・ヴィンチ」の施術件数の見通しが引き上げられたことや、既に全世界で導入された4,000台以上のうち、1割超が7年以上前に導入されたものであることを考慮すると、アップグレードサイクルの加速も期待される。
- ✓ 米国の施術件数は増加しており、手術の対象が一般外科(ヘルニア等)に拡大していることも、今後の同社の成長余地を高めていると考えられる。

株価の推移

2012年12月31日～2017年5月26日、日次



(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

記載内容(各種情報より野村アセットマネジメント作成)は資料作成時点で確認できるものを使用しており、今後修正される場合があります。上記は、「Bコース(為替ヘッジなし)」の上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの組入上位銘柄について②(2017年4月28日現在)

< >内の国・地域は原則発行国・地域で区分しています。

「Aコース(為替ヘッジあり)」は2017年6月2日設定のため、「Bコース(為替ヘッジなし)」の組入銘柄を掲載しています。

組入3位 グローバル・ペイメンツ(GLOBAL PAYMENTS INC) <米国>

決算内容と株式市場の反応

- ✓ 堅調な内容で、決算発表後、**株価は上昇**した。
- ✓ 地域別売上の成長率で見ても、全般的に良好。
- ✓ 海外部門における投資を、好調な北米事業(買収後のシナジー効果等)が相殺し、市場予想を上回った。

今後の見通し

- ✓ 足元の好調なファンダメンタルズ(業績や財務状況等)を反映し、2017年のEPSの会社予想値を従来の3.70~3.90米ドルから3.78~3.95米ドルに**上方修正**した(2016年度実績値は3.19米ドル)。
- ✓ 今回の良好な決算により、**ファンダメンタルズの好調さ**が確認されたことに加え、同業他社の買収により一部の投資家から懸念された企業文化の違いによる混乱等が生じる可能性は低く、同買収後の**シナジー効果が期待**できると確認できた点も大きいと考えられる。

株価の推移

2012年12月31日~2017年5月26日、日次



(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

— 記載内容(各種情報より野村アセットマネジメント作成)は資料作成時点で確認できるものを使用しており、今後修正される場合があります。上記は、「Bコース(為替ヘッジなし)」の上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。 —

組入上位10銘柄

	銘柄	国・地域	業種	成長テーマ	純資産比
1	AMAZON.COM INC アマゾン・ドット・コム	<米国>	小売	新技術・新製品・ 新サービス	3.8%
2	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	<米国>	ヘルスケア機器・サービス	高齢化社会	3.2%
3	GLOBAL PAYMENTS INC グローバル・ペイメンツ	<米国>	ソフトウェア・サービス	フィンテック	2.9%
4	FAIR ISAAC CORP フェア・アイザック	<米国>	ソフトウェア・サービス	アウトソーシング	2.7%
5	CELGENE CORP セルジーン	<米国>	医薬品・バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	高齢化社会	2.6%
6	NVIDIA CORP エヌビディア	<米国>	半導体・半導体製造装置	新技術・新製品・ 新サービス	2.6%
7	HONEYWELL INTERNATIONAL INC ハネウェルインターナショナル	<米国>	資本財	スマートシティ	2.5%
8	ALPHABET INC-CL A アルファベット	<米国>	ソフトウェア・サービス	新技術・新製品・ 新サービス	2.4%
9	ULTA BEAUTY INC アルタ・ビューティ	<米国>	小売	消費の拡大・多様化	2.4%
10	MASTERCARD INC-CLASS A マスターカード	<米国>	ソフトウェア・サービス	フィンテック	2.4%

組入銘柄数：58銘柄

- ・銘柄の成長テーマ分類は適宜見直しを行なうため、分類が変更になる場合があります。
- ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と「Bコース(為替ヘッジなし)」が保有するマザーファンド比率から算出しています。

— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

ファンドマネージャーのコメント

以下の内容は当資料作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

米国企業は、各セクターで増益の見通し

ファンドの資産内容を国・地域別で見ると、米国への配分比率が72.8%※(2017年4月28日現在)と最も高く、主要な投資先である米国についてご説明いたします。

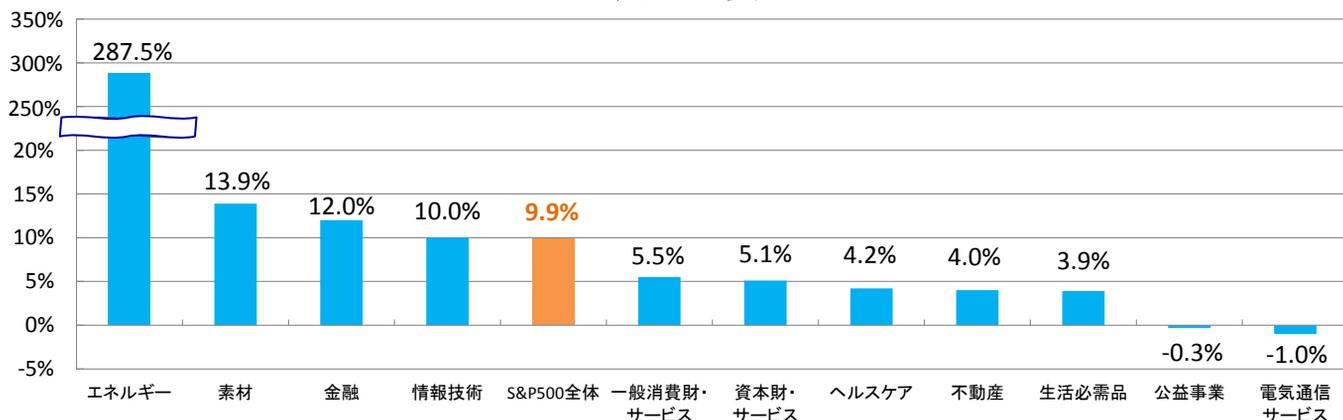
※「Aコース(為替ヘッジあり)」は2017年6月2日設定のため、「Bコース(為替ヘッジなし)」の資産内容です。

米S&P500株価指数の構成銘柄(以下、S&P500企業)の2017年の利益成長率は、各セクターで概ねプラスが見込まれ、また、S&P500企業全体では9.9%の増益が予想されています(2017年5月12日現在)。

S&P500企業全体の2017年第1四半期(1-3月期)の実績は、事前の市場予想を上回り、13.6%の増益でした。好調な企業収益に支えられ、今後の米国株式市場の動向に関しても堅調な推移を見込んでいます。

S&P500企業の2017年の予想利益成長率(セクター別)

2017年5月12日現在



(出所) FactSetによる予想。FactSetデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドでは、より高い成長率が期待されるテーマへ投資

ファンドでは、米国企業の利益成長見通しなども踏まえつつ、組入銘柄の概ね良好な決算発表を受け、足元ではより成長率の高いテーマ(新技術・新製品・新サービスやアウトソーシング)への投資比率を高めています。

AI(人工知能)、ロボット、IoT(モノのインターネット)、自動運転など高成長が期待される分野では企業間競争が一層激しくなっています。同時に、そのような分野で高い競争優位性を確立したと考えられている企業の価値がますます高まっている傾向も見られます。

引き続き、短期的な業績動向に過度にとらわれず、中期的な成長や競争優位性を見極めることに重点をおいた調査をもとに銘柄を選択してまいります。

ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、銘柄例は注目する成長テーマの銘柄の紹介を目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

注目する成長テーマ「新技術・新製品・新サービス」の銘柄例

- ✓ クラウド事業やeコマース事業の更なる拡大が期待されるアマゾン・ドット・コム
- ✓ 自動運転関連やデータセンター等多くの分野で成長が続くと見られる半導体企業のエヌビディア

上記銘柄については、当資料4・5ページもご参照ください。

以上

野村未来トレンド発見ファンド
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の株式(DR(預託証券)^{※1}を含みます。)を実質的な主要投資対象^{※2}とします。
 - ※1 Depositary Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
 - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)ならびに不動産投資信託証券(REIT)および企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証書も含まれます。
- 銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマ^{*}を複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。
 - ※ 「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から成長テーマの選定を行なうことを基本とします。
 - ◆ 成長テーマは随時見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
- 「Aコース(為替ヘッジあり)」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース(為替ヘッジなし)」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース(為替ヘッジあり)」「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年11月14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《使用した市場指数について》

S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズが公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されております。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーに帰属しております。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

野村未来トレンド発見ファンド
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成37年11月14日まで
【Aコース(為替ヘッジあり)】平成29年6月2日設定
【Bコース(為替ヘッジなし)】平成27年11月27日設定
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、11月14日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース(為替ヘッジあり)」 「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ロンドン証券取引所 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(2017年6月現在)

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.674%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★
<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

野村未来トレンド発見ファンド（愛称:先見の明） Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。